

中国黒龍江省における経済発展と国境地域の対外開放戦略

中国黒龍江大学ロシア研究院長・教授 郭力

中国黒龍江省における「綏満経済」と「国境地域開放」の関係は、独立（説明）変数と従属（被説明）変数の関係にある。「綏満経済」と「国境地域開放」は経済発展の過程において、相互的に影響・促進・調和しつつ、対外開放を基盤に開発を行い、開発により対外開放をサポートし、黒龍江省の北東アジア地域における中心的優位性を発揮し、国境地域と内陸経済の共同発展を実現する（図1参照）。

1. 基礎理論

1.1 後発優位 (Late-developing Advantage)

後発優位とは、先発国（地域）と後発国（地域）が共存することを前提とし、後発国（地域）の経済発展が相対的に立ち遅れたことで生じた内在的・客観的有利条件または各種機会のことを指す。その中に、要素的後発優位、技術的後発優位、制度的後発優位などが含まれる。

後発優位を発揮するためには、一定の条件と構造が必須条件となる。具体的には、第一に、後発優位の前条件は対外開放である。積極的に先発国（地域）と交流・協力し、各種ルートを通して先進的な技術や管理経験を取り入れる。第二に、後発優位の重要条件は後発国（地域）の学習能力である。先進技術を導入・吸収した上で、模倣やイノ

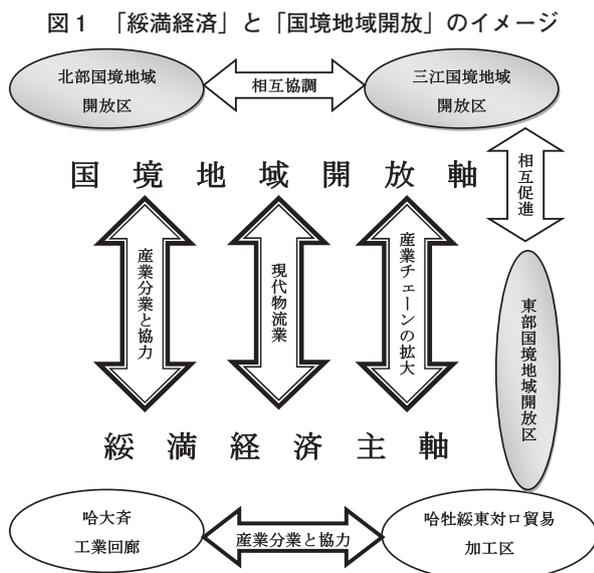
ベーションにより先進的な技術との格差縮小を図る。第三に、後発優位への転化過程において、政府の役割は極めて重要である。すなわち、政府は傾斜生産方式の政策を取り入れ、資金や人的資本などの重要な資源の調達、技術・制度改革を行い、「後発優位の罠」に陥ることを防ぐ。

黒龍江省は中国東北部に位置し、経済発展水準と環境が比較的遅れた未発達地域である。黒龍江省政府は対外開放水準の向上、様々な産業園地の建設、資金と先進技術の導入、国際産業移転を受け入れるためのプラットフォーム構築に力を入れている。その上で、積極的に対外経済貿易協力を参画し、経済発展に必要な資源を獲得するとともに、先進国・地域の経済発展経験を総括することを通して技術進歩や制度改革を加速化し、迅速且つ健全なる経済発展を図っている。

1.2 地域間の産業リンケージ (Industrial Linkage Between Regions)

地域間の産業リンケージとは、市場機構下における政府のマクロコントロール政策により、地域間の同じ産業または関連産業が生み出す発展プロセス、すなわち、相互に必要とし、ウィン・ウィンを目的とする相互発展のプロセスを指す¹。産業間の技術、経済の協力は産業リンケージの基本であるが、政府の政策も産業リンケージに影響を及ぼしている²。地域間経済協力、産業構造の高度化を図ることで、資金や技術、人的資本、知識などの生産要素は、企業・産業・エリアの制約を受けずに、再編や新たな配置が行われ、産業分業体制の形成、規模の経済、取引コストの削減、イノベーション能力の向上などの産業リンケージ効果が得られる³。また、地域資源の優位性を活かし、産業チェーンのハイエンドへの拡大を促すことで、国境地域と内陸部の産業リンケージの発展を推進し、対外経済協力に対する産業のサポート力の強化を図る。

国内外の地域経済発展の変遷をみると、産業のサポート力が乏しい対外開放は持続可能な発展を実現することができないことがわかる。黒龍江省の対外開放をレベルアップさせるためには、国境開放地帯に対する内陸部経済の産業サポート力は重要な意義を持つ。その際、地域間の産業リ



(出所) 筆者作成。

¹ 劉釗 (2009) 「産業リンケージに基づく地域経済の協調発展構造研究」『财会研究』第1期。

² 吕涛・聶銳 (2007) 「産業リンケージの内包理論的根拠及び表現形式」『工業技術経済』第5期。

³ 劉釗 (2009) 「産業リンケージに基づく地域経済の協調発展構造研究」『财会研究』第1期。

ンテージを通して、装備製造やエネルギー、化学、食品、ハイテクなどの輸出指向型産業基盤を強化することが重要となる。また、クラスター形成の推進、内陸部・国境地域産業の分業と協力の強化、国境地域の対外産業協力機能の向上によって国境貿易を主とする従来の対外開放の構造を変え、周辺地域に対する影響力を高めることも求められる。

2. 黒龍江省における「綏滿経済」と「国境地域開放」

黒龍江省は、経済構造の改善、地域経済の統合を通して、「綏滿経済」と「国境地域開放」を中心とした有機的な連携、調和的な発展、有効且つ連動する空間レイアウトを構築し、国境地域と内陸部経済の連携、相互促進、共同発展の新局面を作り上げている。

2.1 「綏滿経済」の建設

「綏滿経済」は、「哈大齊（ハルビン～大慶～チチハル）工業回廊」を中核とし、東は「哈牡綏東（ハルビン～牡丹江～綏芬河～東寧）対口貿易加工区」へと繋がり、西は内モンゴル自治区の満洲里まで及んでいる。「綏滿経済」の狙いは、内モンゴル対口経済協力の優位性を活かし、綏芬河、牡丹江、ハルビン、大慶、チチハル、フルンボイル（呼倫貝爾）、満洲里などの都市を繋ぐ重要な輸出指向型産業地帯を形成し、双方の資源を利用して二つの市場を開拓するところにある。さらに、綏滿道路（綏芬河～満洲里）、濱綏鉄道（ハルビン～綏芬河）などの交通インフラ網を利用して産業チェーンを拡大し、沿線の工業園区をプラットフォームとし、資本、労働力、技術など生産要素の結合を加速化させることで、「哈大齊工業回廊」と「哈牡綏東対口貿易加工区」の分業と協力を実現する。

「綏滿経済」の建設は次の原則に基づくものである。すなわち、縦割り行政をなくし、新たな工業化の道へ進み、循環経済を進展させ、中央政府と地方行政が共同で推進する原則である。具体的には、「統一した企画の立案及び地域別の開発」、「市場メカニズムに立脚した政府主導の政策運営」、「企業を主体とした集中と分散の原則」、「潜在力の発掘、開放と開発の拡大」、「製品のブランド化、企業投資誘致と開発の結合」の5点が挙げられる。

「綏滿経済」を進展させるためには、潜在的な優位性を生かし、比較優位を発揮して哈大齊沿線の重度なアルカリ性土壌地（未使用土地）と一部の農用地を利用し、装備製造、石油化学、食品、医薬、ハイテク、現代物流を含むサービス業など、特色のある産業クラスターを育成することが

重要となる。そうすることで、優位性を持つ産業クラスター、合理的な生産システム、科学技術のサポート力、完備した安全保障システム、優れた生態環境と波及効果を併せ持つ「綏滿経済」が建設できる。

2.2 「国境地域開放」の建設

「国境地域開放」は、綏芬河、東寧、撫遠、同江などの国境都市を窓口とし、牡丹江、鶏西、ジャムス（佳木斯）、伊春、黒河など国境に近い中核都市を拠点としている。対外開放に基づいて、産業開発、国際貿易の拡大、国境貿易協力モデルの革新を目標とした「優位性を持ち、特徴があり、機能が完備され、全体的に強化された」差別化戦略をもって、国境地域経済開放の新たな構造を形成する。その上、「四大国境地域開放区、四大産業地帯」の建設を推進し、黒龍江省経済の健全且つ迅速な発展を促進する。

具体的には、国境地域に対して優遇政策を与え、有効的な二国間・多国間協力モデルを模索し、綏芬河総合保税區、互市貿易区（満洲里～ザバイカリスク）、国境経済協力区、越境経済貿易協力区の建設を強化する。また、通関口⁴のインフラ整備の建設を加速化し、通関口と内陸地域を繋ぐ輸送ルートを開通し、対外輸送ルートの拡大に力を入れ、陸海・江海複合一貫輸送を進展させる。さらに、ハルビンを中心に、中国の東北部と沿海部地域、北東アジアと環太平洋地域、ロシア内陸部とCIS諸国を結ぶ鉄道や道路、空港、パイプラインなど輸送モードを効率的に連結し、国際貿易輸送ルートを開通する。

(1) 四大国境地域開放区の建設

黒龍江省の地域特性及び地域産業の特徴を総合的に見ると、国境地域開放区は東南部、東部、三江、北部の4つに分けることができる。4つの開放区は独自の特徴を持ち、重点的な開放分野が異なる。その一方、4つの開放区は相互に関連し、促進しあうものである。

▶ 東南部国境地域開放区

東南部国境地域開放区は、牡丹江と鶏西の両都市を基盤に、綏芬河と東寧を重要通関口とし、穆稜、寧安、林口、虎林、密山、鶏東などの周辺都市を網羅する。東南部国境地域開放区の建設目的は、綏芬河総合保税區、綏芬河－ボグラニチヌイ貿易綜合体、東寧互市貿易区の建設を加速化し、国内の保税區と国外の自由経済区の建設経験を参考に、綏芬河総合保税區の輸出加工、中継貿易、保税倉庫と商品

⁴ 訳注：通関口の中国名が「口岸」である。

展示機能を積極的に発揮することが重要である。また、波及効果、リンケージ効果及び拡張効果を通して周辺地域との協力、産業チェーンの構築を図り、現代貿易、現代物流、ビジネスメッセ、総合観光、電機製品の組立、軽工業、紡織、木材加工、建築材料、農産品加工、対外貿易などの産業発展に力を入れることも求められる。最終的には、陸路と海上を結んだ国際物流、ビジネス観光、加工貿易を特徴とする国境開放先導区の建設を目指す。

▶ 東部国境地域開放区

東部国境地域開放区は、黒瞎子島（ロシア名：大ウスリー島）の「一島二国」⁵の特徴を利用し、地理的優位と資源優位を十分に発揮させ、同地域を中口政治経済協力の重要なプラットフォーム及び中国国境開放のモデル地域として建設する。黒瞎子島の開発は、経済効果と生態効果の最大化を実現し、対外開放水準を一層高め、開発を柔軟に行い、経済・社会・自然のさらなる調和方法を模索しなければならない。したがって、生態環境の保護を前提とし、中国とロシアを結ぶ黒瞎子島の輸送ルートの建設を加速化し、黒龍江省とロシア極東地域の交通網を結ぶ国際貿易園区及びロシア向けの貿易協力センターとして建設する。

黒瞎子島に生息する豊富な鳥類、魚類は生態観光の開発に有利な条件であるため、観光により貿易を呼びこみ、貿易により観光を促し、貿易と観光の相互発展を実現し、モノ・ヒト・カネの流れを作ることが必要である。さらに、開発分野とエリアを拡大し、倉庫物流センターを建設し、中口観光・物流協力で新たな活力を注ぐことが重要となる。

東部国境地域開放区の開発は、黒瞎子島の「一島二国」の特徴を生かし、ロシアとの協力関係を強化することが求められる。その上で、東部国境地域開放区は、中国東北振興とロシア東部地域の開発戦略の相互協力を図るモデル地域として、地理的優位性を発揮して北東アジア地域協力の突破点を目指す。

▶ 三江国境地域開放区

三江国境地域開放区は、ジャムス、鶴崗、双鴨山の三都市を基盤に、同江と撫遠を重点通関口とし、富錦、樺川、夢北、綏濱、饒河などの周辺都市を網羅する。建設中の同江大橋は、初となる中口国境鉄道大橋であり、完成すれば南は中国東北三省、北はロシア極東地域を結び、シベリア鉄道を利用してヨーロッパにつながる国際鉄道輸送ルート

となる。三江国境地域開放区では、同江通関口の潜在能力を生かし、中口交通中枢として、また対ロシア輸出入加工基地及び北東アジア物流センターの一つとして建設することが重要である。周辺地域と連携し、木材加工、新エネルギー、新素材、生態観光、現代物流、冶金、木材加工、建築材料、食品生産加工と対外貿易を重点的に発展すれば、三江国境地域開放区を対口協力産業・貿易基地、特徴ある観光センターとして建設することが可能であろう。

▶ 北部国境地域開放区

北部国境地域開放区は、大興安嶺地域、黒河市、伊春市を基盤に、黒河を重点通関口とし、呼瑪、塔河、遜克、孫呉、嘉蔭などの周辺都市を網羅する。黒河市とブラゴベシチェンスク市は、中口国境における輸送距離が最短な隣接都市である⁶。南は北黒鉄道（北安～黒河）、202国道、黒斉道路（黒河～チチハル）、京哈黒空路（北京～ハルビン～黒河）を經由し、中国大陸、香港・マカオ・台湾、日本及び東南アジア各国と繋がっている。北はシベリア鉄道、貝阿鉄道（バイカル～アムール）を利用して、ロシア内陸、CIS諸国とヨーロッパ大陸へと繋がっている⁷。したがって、黒河の地理的優位性とブラゴベシチェンスク市との資源、市場、産業間の補完性を利用し、「国際商品集散地」、「貿易・観光ルート」と「経済貿易協力」のプラットフォームとしての役割を発揮し、ロシア木材の伐採と加工、電気製錬と加工、農産物の生産と加工、観光などの産業を重点的に発展させ、北部国境地域開放区を中ロアムール川上流地域の貿易協力センターとして建設する。

(2) 国境地域四大産業区の建設

▶ 牡丹江市を中心とする先進製造業産業区

対象地域は、主に綏満道路（綏芬河～満洲里）の海林、牡丹江、穆稜、綏芬河、東寧を含んでおり、その東南部は図們、琿春と延吉、東北部は鶏西、七台河に至る。牡丹江は資源豊富な地域であり、近年における戦略的な調整により、経済構造は適正化しつつある。中でも、石炭化学、製紙、木材加工などの製造業は急速に成長している。

この産業区では、綏芬河総合保税區、国境経済協力区、互市貿易区、国境内外加工園区の建設を中心に、木材加工、建築材料と機械電気・電子情報産業を重点的に発展させる。また、陸海複合一貫輸送ルートを利用し、資金、技術、人力等生産要素を結合させて経済発展を促す。

⁵ 訳注：中口両国が大ウスリー島を東西に分割し、管轄することを意味する。

⁶ 丁睿語（2009）「黒河市—ブラゴベシチェンスク市の越江経済協力地域建設のいくつかの思考」『俄羅斯中亞東欧市場』第2期。

⁷ 張憲軍（2008）「黒河—ブラゴベシチェンスク、両都市の共同発展における実践と構想」『西伯利亚研究』第2期。

▶ ジャムス市を中心とする新興産業区

対象地域は、佳撫道路（ジャムス～撫遠）沿線のジャムス、集賢、双鴨山、富錦、同江、撫遠を含む。この地域には豊富な鉱物資源と農業資源がある。同江大橋プロジェクトは着工しており、黒瞎子島の開発も計画されている。これらの大型プロジェクトを通して、現地の資源と通関口の優位性を発揮し、地域産業の特徴と経済発展のニーズに合わせて、新素材・新エネルギーを開発し、生態農業とグリーン食品加工業を進展させる。

▶ 黒河市を中心とする重化学工業・エネルギー産業区

対象地域は、黒河市及び周辺の嫩江、遜克を含む。黒河を隔てて向いあうアムール州は鉱物資源、水力資源、森林資源等が豊富である。この地域では、国内外の鉱物資源と電力資源を利用し、非鉄金属とケイ素基材の精錬、石油化学工業を重点的に発展し、対ロシア・北東アジア地域開放協力の重化学工業・エネルギー産業区を建設する。

▶ 大・小興安嶺を中心とする資源開発加工産業区

対象地域は、大興安嶺地域と伊春地域を含む。この地域は自然資源が豊富であり、中国の重要な資源安全保障基地であると同時に、北東アジアの生態保護においても重要な意義を持つ。この産業区は、生態資源の安全保障を前提とし、木材加工、グリーン食品加工、鉱物資源開発、クリーンエネルギーなどの産業を進展し、経済発展と資源環境保護の調和を実現する。

3. 北東アジア経済上昇区の形成

「綏満経済」と「国境地域開放」戦略の下で、黒龍江省は地理的・産業・資源の優位性を生かし、ウィン・ウィン、調和の取れた発展、イノベーションを目指す。貿易、投資、技術、産業等における協力を通して、黒龍江省とロシア東部地域の間に重層的な協力関係を構築し、域内資源の最適配分を図り、地域経済振興を実現する。同時に、中口地域の共同発展に力を入れており、この地域を「北東アジア経済上昇区」として進展させ、資金、技術、人材などの生産要素の移動を促し、北東アジア地域における経済影響力を引き上げ、地域協力の主導的な役割を果たす。

具体的には、第一に、国外協力区の建設を加速化し、中ロ双方が投資・協力しあうプラットフォームを建設することが重要である。株式、ベンチャー投資の方式で、ウスリー

スク康吉経済貿易協力区、極東工業園区、ニジニレニンスコエ木材加工区、アルセニエフ総合加工区などの国外園区を建設し⁸、中口の資源開発協力関係を「貿易型」から「加工型」へと転換する。中ロが調印したプロジェクトを着実に建設し、エネルギーの採掘・加工を全面的に展開させ、資金力・技術力を有する国内外企業を誘致し、ロシアの木材伐採・加工プロジェクトへの参加を促す。

第二に、対ロ労働力輸出を拡大し、農業分野の総合開発協力を強化することが重要である。黒龍江省は、ロシア東部地域との農業補完性を生かし、農業労働者・技術の交流と協力を強化し、農業労働者の対ロ派遣を拡大する。また、競争力のある農業開発企業を育成し、対ロ農業協力科学技術園、対ロ農業生産基地及び国外農業総合開発基地の建設を強化し、ロシア市場のニーズに合わせてグリーンで公害のない有機食品を生産する。

第三に、対ロ科学技術協力を促し、中ロ貿易の方式を転換させることが重要である。科学技術協力は黒龍江省とロシアの協力において重要であり、そのキープポイントは、ロシア側の先進技術を導入し、消化・吸収したうえで、イノベーションを行い、産業化のプロセスを加速させることである。科学技術の協力を通して技術貿易とサービス貿易の発展を促し、中ロ政府の許可範囲内で技術移転、技術応用、貿易ライセンス、技術サービス及び技術協力を含む技術・サービス貿易を展開し⁹、これによってモノの貿易を主とする従来の協力方式を転換させる。機械電気、ハイテク製品の輸出規模を一層拡大し、現地生産効率を高め、貿易構造を改善する。中ロ協力における「質」と「相乗効果」を高め、黒龍江省の産業発展における対ロ貿易のけん引効果を発揮させる。

4. 戦略意義

4.1 黒龍江省経済に見合う発展を促進する

黒龍江省は北東アジアの内陸部に位置しており、石油、天然ガスなどのエネルギー資源と農業資源が豊富で、重工業基盤も有している。これらの基礎条件は、黒龍江省が国際協力に参加できる客観的な条件となる。2008年の世界金融危機の影響で、黒龍江省の対外貿易は深刻な打撃を受けていたが、対外開放戦略の重要性を再認識させられた。今後、「綏満経済」と「国境地域開放」を中心とした経済発展を目指す黒龍江省経済にとって、輸出指向型の産業クラスターを形成し、ブランド戦略を実施して優位性を持つ製

⁸ 黒龍江省人民政府（2009）「黒龍江省の国境地域開放区発展企画に関する通知」www.hlj.gov.cn.2009-03-23.

⁹ 曲偉編（2010）『2010年黒龍江省経済形勢分析と予測』黒龍江教育出版社、218頁。

品を開発することが重要となる。その実現に向けて、産業チェーンを通して黒龍江省内陸部の産業構造と国境地域の地理的優位性を結合させ、対外開放のレベルを高め、バランスの取れた地域経済発展を図らなければならない。

4.2 東北域内の地域間協力を強化する

北東アジアの貿易・技術協力の発展に向けて、黒龍江省、吉林省、遼寧省、内モンゴル自治区はそれぞれ独自の優位性を持っている。この4省・自治区は既に共通意識として、相互の優位性を生かした共同発展ビジョンを持っている。まず地理的観点からみて、黒龍江省、吉林省、内モンゴル自治区の「国境地域の優位性」と遼寧省の「沿海地域の優位性」を生かしながら、東部沿海地域との連携を一層強化し、南部を繋いで北部を開放するという対外開放構造を実現することが重要となる。また、産業発展の観点からみて、東北地域の産業構造はある程度類似しており、装備製造、エネルギー、化学、食品加工、医薬などの産業が国内外で一定の競争力を持っている。したがって、地域間及び日本、韓国、ロシアとの産業間分業・協力を通じて技術、情報、人材の移動を活性化し、東北部の輸出能力を高め、技術導入とイノベーションによって、地域産業構造の合理化とグレードアップを促すことが重要な意味を持つ。

4.3 北東アジア地域協力の中における主導権を強化する

近年、北東アジア地域内の二国間及び多国間協力の動向は良好で、エネルギー、環境、金融、経済貿易の分野における協力関係は深化している。また、北東アジア諸国間の

経済連携もますます深まっている。しかし、北東アジア地域の政治経済情勢が複雑であるため、制度的枠組みの構築は進まず、停滞傾向にある。北東アジア地域協力の制度的枠組みは、中国の経済発展戦略にとって重要であるばかりでなく、中国がこの地域の政治・経済大国であるという立場上の責務からも求められている。黒龍江省は対外開放水準を高めることで、中国と北東アジア諸国の経済貿易協力関係を确实なものにし、経済協力によって政治的安定を促し、中国の影響力と発言力を高め、北東アジア地域経済一体化の進展を図らなければならない。

[中国語原稿をERINAにて翻訳]

参考文献

1. 呂涛・聶銳（2007）「産業リンケージの内包理論的根拠及び表現形式」『工業技術経済』第5期。
2. 張憲軍（2008）「黒河—ブラゴベシチェンスク、両都市の共同発展における実践と構想」『西伯利亚研究』第2期。
3. 劉釗（2009）「産業リンケージに基づく地域経済の協調発展構造研究」『财会研究』第1期。
4. 丁蒼語（2009）「黒河市—ブラゴベシチェンスク市の越江経済協力地域建設のいくつかの思考」『俄羅斯中亜東欧市場』第2期。
5. 黒龍江省人民政府（2009）「黒龍江省の国境地域開放区発展企画に関する通知」www.hlj.gov.cn,2009-03-23。
6. 曲偉編（2010）『2010年黒龍江省経済形勢分析と予測』黒龍江教育出版社。

The Economic Development and the Opening-Up Strategy of the Border Areas in China's Heilongjiang Province

GUO, Li

Director and Professor, Russian Institute, Heilongjiang University

Summary

This paper raises the creation of a "Dual Axle" model for development to advance the openness of Heilongjiang Province and to promote the development of the Heilongjiang regional economy. It forms a two-axle-drive spatial distribution of the Suiman [Suifenhe-Manzhouli] axle and the border opening axle, which are connected organically. It coordinates development and effective interaction, forming a new situation of support, promotion and common development between the border and the economy of the interior. It provides important support for promoting Heilongjiang hinterland industry and changes the methods for foreign cooperation in border trade mainly in the border areas, by means including trade cooperation, investment cooperation, technical cooperation, and industrial cooperation. The "Dual Axle" model will promote the development of economic and trade cooperation and of technical cooperation between Heilongjiang and eastern Russia, and realize the goals of Heilongjiang economic revitalization and the economic development of eastern Russia.

Keywords: "Dual Axle" drive; Suiman economic axle; border opening axle